

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【公表番号】特表2012-504563(P2012-504563A)

【公表日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-529471(P2011-529471)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	5/0784	(2010.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	7/06	Z N A
C 0 7 K	7/08	
C 0 7 K	14/00	
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	5/00	2 0 2 M

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月17日(2012.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号：1～8からなる群から選択されるアミノ酸配列、および／または配列番号：1～8と少なくとも80%同一の変異アミノ酸配列を含む少なくとも2つのペプチド、および／または配列番号：1～8もしくは該変異アミノ酸配列をコードする核酸を含むポリヌクレオチド、ならびに薬学的に許容される担体を含む、医薬組成物。

【請求項2】

配列番号：9～20からなる群から選択されるアミノ酸配列、もしくは配列番号：9～20と少なくとも80%同一の変異アミノ酸配列を含む少なくとも1つの付加的なペプチド、または配列番号：9～20もしくは該変異アミノ酸配列をコードする核酸を含むポリヌクレオチドをさらに含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

ペプチドの全長は、8～100アミノ酸長、8～30アミノ酸長または8～17アミノ酸長である、請求項1または2に記載の医薬組成物。

**【請求項4】**

少なくとも1つのペプチドは非ペプチド結合を含む、請求項1～3のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項5】**

配列番号：1～20に記載のアミノ酸配列からなる少なくとも2つのペプチドを含む、請求項1～4のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項6】**

配列番号：1および17のアミノ酸配列、配列番号：2および17のアミノ酸配列、または配列番号：3および17のアミノ酸配列を含む少なくとも2つのペプチドを含む、請求項1～5のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項7】**

医薬組成物に存在するペプチドの選択、数、および／または量が組織、癌、および／または患者特異的である、請求項1～6のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項8】**

1018 ISS、アルミニウム塩、Amplivax、AS15、BCG、CP-870,893、CpG7909、CyaA、dSLIM、GM-CSF、IC30、IC31、イミキモド、ImuFactIMP321、IS Patch、ISCOMATRIX、JuvImmune、LipoVac、MF59、モノホスホリルリピドA、モンタニドIMS 1312、モンタニドISA206、モンタニドISA 50V、モンタニドISA-51、OK-432、OM-174、OM-197-MP-EC、ONTAK、PepTelベクター系、PLG微粒子、レシキモド、SRL172、ビロソームおよび他のウイルス様粒子、YF-17DBCG、Aquila'sQS21 stimulon、Ribi's Detox. Quil、Superfos、フロイントアジュバント、GM-CSF、コレラ毒素、免疫学的アジュバント、MF59、およびサイトカインからなる群から選択される、少なくとも1つの適切なアジュバントをさらに含む、請求項1～7のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項9】**

アジュバントが顆粒球マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)を含むコロニー刺激因子、またはイミキモドまたはレシミキモドからなる群から選択される、請求項8に記載の医薬組成物。

**【請求項10】**

さらに少なくとも1つの抗原提示細胞を含む、請求項1～9のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項11】**

抗原提示細胞が樹状細胞である、請求項10に記載の医薬組成物。

**【請求項12】**

少なくとも1つの抗原提示細胞が、

- a) ペプチドでパルスされているか、もしくは前記ペプチドを提示している、または
- b) ペプチドをコードする発現構成物を含む、

請求項10または11に記載の医薬組成物。

**【請求項13】**

医薬組成物がワクチンとして、静脈内投与、動脈内投与、腹腔内投与、筋肉内投与、経皮投与、腫瘍内投与、経口投与、経皮投与、経鼻投与、頬側投与、直腸投与、経膣投与、吸入、または局所投与される、請求項1～12のいずれか1項に記載の医薬組成物。

**【請求項14】**

請求項1～13のいずれか1項に記載の医薬組成物を有効成分として含有する、癌の予防または治療のための薬剤。

**【請求項15】**

医薬組成物が抗癌ワクチンである、請求項14に記載の薬剤。

**【請求項16】**

癌が、口腔および咽頭の癌、消化管の癌、結腸、直腸、肛門の癌、気道の癌、乳癌、子宮頸部、膣、外陰部の癌、子宮体部および卵巣の癌、男性生殖器の癌、尿路の癌、骨および軟組織の癌、カポジ肉腫、皮膚のメラノーマ、眼球メラノーマ、メラノーマ以外の眼球

癌、脳および中枢神経系の癌、甲状腺および他の内分泌腺の癌、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫、および骨髄腫であり、または、腎臓癌、大腸癌、肺癌、乳癌、膵臓癌、前立腺癌、胃癌、GISTまたは神経膠芽細胞腫である、請求項15に記載の薬剤。

【請求項17】

癌が大腸癌である、請求項16に記載の薬剤。